

# 山梨県の一体的実施

平成24年4月1日事業開始

「山梨県求職者総合支援センター」を開設し、県とハローワークによる離職を余儀なくされた方等の生活の安定及び再就職の促進を図るための、総合的な就業・生活支援を一体的に実施

県

生活・就労相談の実施等

国

職業紹介・職業相談の実施等  
(45歳以上の求職者に対する職業相談及び職業紹介並びにこれに付随する業務)



## ① 事業内容

- ・ 離職を余儀なくされた方等の生活の安定及び再就職の促進を図るための、総合的な就業・生活支援

## ② 協定・事業計画

- ・ 山梨県知事と山梨労働局長の間で協定(\*)を締結
  - ・ 数値目標を盛り込んだ事業計画を山梨県と山梨労働局の間で策定
- \* 一体的な運営に当たり県は局に要請することができ、局はその要請を誠実に実行する旨を規定

## ③ 運営協議会

- ・ 山梨県職員、山梨労働局職員、労使各団体代表者をメンバーとする運営協議会を設置(山梨県産業労働部次長が座長)



既存の「山梨県求職者総合支援センター」を拡充して設置。福祉から就労までの一体的支援を実現。

## (1) 実施体制

### 県

- センター長(ジョブカフェやまなしセンター長兼務) 1名
- 生活就労・相談員 2名
- 企画・受付担当者 1名

### 国

- 職業相談員 5名
- 求人情報提供端末9台、職業紹介端末5台を配置

## (2) 開設場所

甲府市飯田1-1-20 JA会館5階

## (3) 開設日・時間

月曜日～金曜日(祝日、年末年始を除く)  
午前9時30分から午後6時まで

## (4) 事業目標と取組状況

	25年度事業目標	取組状況(25年10月末時点)
一般求職者に対する支援	就職者数 600人以上	計 560人 (うち紹介就職 419人)
生活就労相談	相談数 700人以上	計 378人

# 一体的実施事業による就職成功例

男性：40代

希望職種：製造

直近の状況：再就職援助計画交付対象者

## ① 抱える課題

- ・ 半導体製品製造事業所にて30年勤務してきたが、経営環境の急激な変化へ対応するための組織再編に伴う早期退職勧奨制度に応募して退職。
- ・ 可能であれば同じ半導体製造関連への再就職を希望するが、当業界の状況を考慮すると困難である。また、本人は同じ会社での専門職に長い間従事していたため、求職活動開始時は他社他業種については、あまり詳しくない。
- ・ 持病により通院の必要があり、夜勤や長時間運転業務は医師から止められている。

## ② 支援内容・ポイント・経過

- ・ 再就職支援会社も利用していた。再就職支援会社からは体調面を考慮して休養を勧められたり、自ら探して応募するように言われていた。
- ・ 窓口においては、健康面での不安やこれまでの職務への想いをしっかり受け止め、求職者の希望を尊重しつつ、求人票を利用しながら現在の雇用環境について本人が受け入れられるように説明を繰り返した。
- ・ 求職者が雇用環境の理解が進んだところで、職種と体調面を考慮のうえ、本人が納得できる求人への紹介を行った。

## ③ 結果 ※支援期間：約4ヶ月

- ・ 飲料の製造補助で契約社員採用
- ・ 一日7時間程度 週5日勤務

## ④ 職業相談員の所感

- ・ 長い間製造業へ従事していたことからスキルは高く、異業種での面接も内定手前までいくこともある。コミュニケーションを図り柔軟な対応ができる方であると見立て、体調面の管理を第一として、現在の雇用環境を理解して頂くことに努め、求職者の自己理解を促して自信をつけるような支援を意識した。

## ⑤ 本人のコメント

- ・ 製造であっても、今まで行っていた仕事とは異なる職務である。重い物を扱うため体力を必要とする。食品では衛生面が重視され、しっかりと掃除をするなど几帳面さは大切であり、半導体製造でも同じである。前職から培ってきた能力が功を奏したと思う。自分のやる気をしっかり持てば、頑張っていけると感じている。